

市民運動にとっての法人格

～活動基盤をどう強化していくか～

2020年 **2月15日** (土)

午後 **1時30分**～**4時30分** (開室1:10)

会場: **立川市子ども未来センター**

201・202 会議室

(立川駅南口歩12分・西国立駅歩8分、裏面に地図)



講師: **早瀬 昇**さん

(社会福祉法人 大阪ボランティア協会理事長)

資料代
500円
(会員無料)
先着70人
予約優先

市民活動資料を収集・保存し、未来に残していこうという当「ネットワーク・市民アーカイブ」が発足してから13年、市民活動資料室「市民アーカイブ多摩」を立川市の玉川上水に開設してから5年が経過しました。

これまでは資料室運営に手いっぱいでしたが、ここ数年、より遠い未来に資料を引き継いでいくために、どう活動基盤を強くしていくかという議論を始めました。

講演をお願いしました講師の早瀬昇さんは、1970年代から交通遺児家族支援や地下鉄のバリアフリー化などの市民運動に関わり、全国で最初にできた市民活動・ボランティア支援組織「大阪ボランティア協会」に勤務、市民組織・行政・企業と多彩なネットワークをつくり、NPO法制定にも尽力されました。

多くの市民運動と併走し、ご自身も運動してきた早瀬さんから、私たち市民組織が、何を大切にしながら、力をつけていけばいいのか、そのために法人格はどう利用できるのか・・・知恵とご経験を伺います。

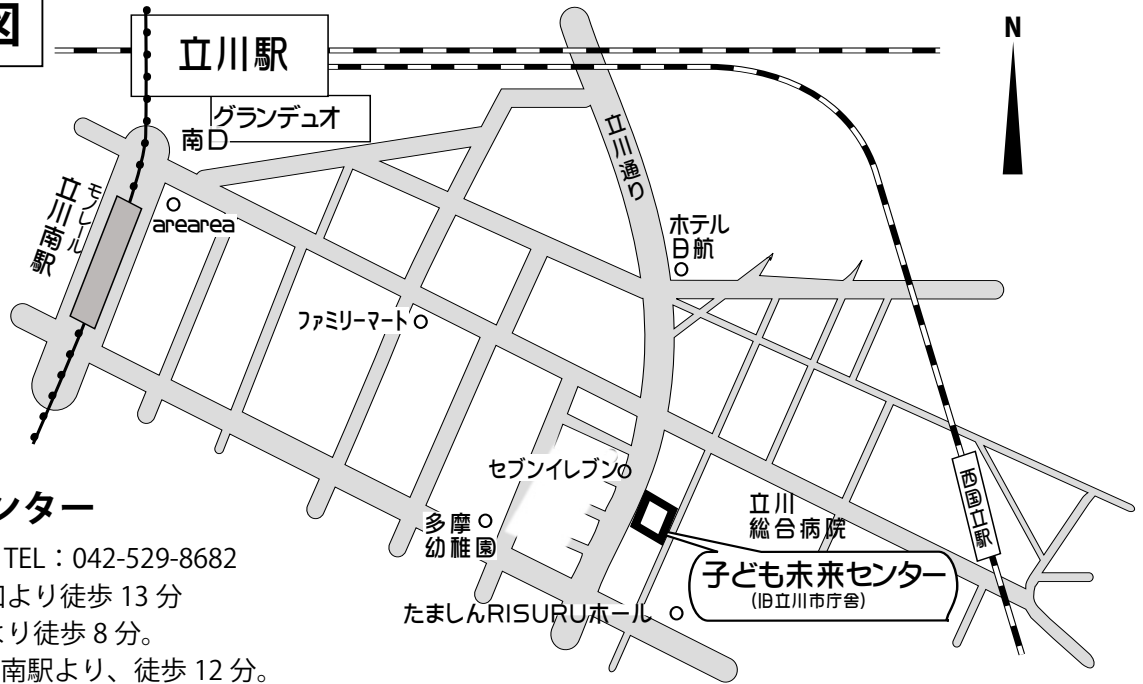
皆様のご参加、お待ちしております。

主催・申込み先: **ネットワーク・市民アーカイブ**

tel: **042-540-1663**

E-mail: simin-siryo@nifty.com <http://www.c-archive.jp/>

会場案内図



子ども未来センター

立川市錦町 3-2-26 TEL : 042-529-8682

JR 中央線立川駅南口より徒歩 13 分

JR 南武線西国立駅より徒歩 8 分。

多摩モノレール立川南駅より、徒歩 12 分。

講師：早瀬 昇さん

プロフィール：

大阪ボランティア協会理事長。1955 年、大阪府生まれ。大学で電子工学科を専攻するも、交通遺児家族支援、地下鉄のバリアフリー化、市民活動情報誌の編集などの活動に次々に参加。大学卒業後、フランス、ベルギーの障害者グループホームでケアワーカーを経験した後、1978 年に大阪ボランティア協会に就職。91 年から 2010 年まで事務局長。「市民の参加の力」で社会問題を自治的に解決する環境整備をライフワークとし、現在、日本ファンドレイジング協会副代表理事、日本ボランティアコーディネーター協会副代表理事なども務める。著書に「参加の力」が創る共生社会—市民の共感・主体性をどう醸成するか』『寝ても覚めても市民活動論』など。大の阪神タイガースファン。赤ワイン党。

大阪ボランティア協会

1965 年、全国に先駆けて誕生した市民活動サポートセンター。「ボランティア・NPO 推進センター」「企業市民活動推進センター」「情報・出版・シンクタンク部門」の 3 つの部門を持ち、「市民活動を広め深めていきたい」と願うのべ約 150 名以上のボランティアと約 10 人の職員が、ボランティア（グループ）や NPO、企業の市民活動等を支援している。

(HP より)

市民活動資料室「市民アーカイブ多摩」ご案内

- ・開館日：毎週水曜日、第 2・4 土曜日（年末年始と 8 月中旬は休館）
- ・開館時間：午後 1 時～4 時 ・入館カンパ：100 円～
- ・所在地：東京都立川市幸町 5-9 6-7（多摩モノレール、西武線「玉川上水駅」南口徒歩 8 分）
- ・電話 & fax：042-536-5535（開館中のみ）
- ・見られる資料：市民活動団体や個人が発行しているミニコミ（通信や会報など）1800 タイトルほか
- ・ホームページにミニコミのタイトル、発行団体を掲載。http://www.c-archive.jp/
- ・運営：ネットワーク・市民アーカイブ